

海洋気象観測船「凌風丸」の一般公開を行います ～7/18(土)、19(日)に海フェスタよこはま会場で実施～

海洋気象観測船「^{りょうふうまる}凌風丸」の一般公開を、海フェスタよこはまの一環として以下のとおり実施します。

- 1 開催日：平成21年7月18日(土)および7月19日(日)
受付時間：10:00～14:30(両日とも受付後15:00まで見学可)
- 2 開催場所：横浜港・新港ふ頭5号岸壁(別紙参照)
最寄り駅…みなとみらい線 馬車道駅より徒歩約15分
JR根岸線・市営地下鉄 桜木町駅・関内駅より徒歩約25分
- 3 実施体制：気象庁、海フェスタよこはま実行委員会(事務局：横浜市港湾局)
(海フェスタよこはまHP：<http://www.umifesta2009.jp/>)
- 4 参加方法：会場にて受付。入場無料。
- 5 その他
 - ・雨天でも実施しますが、荒天時(強風・波浪等の注意報・警報が発表された場合)には、中止する可能性があります。
 - ・船には急な階段がたくさんあり、滑りやすくなっていますので、動きやすい服装・靴でお越しください。
 - ・船内通路は狭いため、大きな荷物の持ち込みなどをご遠慮ください。
 - ・駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してお越しください。



海洋気象観測船「凌風丸」

所 属：気象庁本庁

総トン数：1,380トン

全 長：82.00m

幅 　：13.00m

最大喫水：4.71m

竣 工：平成7年6月30日

【本件に対する問い合わせ先】

気象庁 地球環境・海洋部 地球環境業務課
横浜市港湾局 賑わい振興課

電話：03-3212-8341(内線：5110)

電話：045-671-2888

海洋気象観測船「凌風丸」一般公開開催場所



【参考】海洋気象観測船とは

気象庁では、海洋気象観測船によって、西太平洋および日本周辺海域において海洋と気象の観測を行っています。

海洋気象観測船は、地球温暖化をはじめ数年～数十年規模の気候変動の監視、それら気候変動に果たす海洋の役割の解明を目的として、海洋の表面から深層に至るまでの水温、塩分などの観測を行うとともに、二酸化炭素やメタンなど地球温暖化の原因とされる温室効果ガスについても観測しています。また、海面下 6,000 メートルの海水を採取する装置などを装備しています。また、台風などの予測の基礎データを取得するため、気球により高度 20～30km までの気象観測を行う装置なども備えています。



海面下 6,000 メートルまでの水温、塩分を観測し、海水を採取する装置



海中の二酸化炭素濃度を測定する装置